

特別展

Treasures
from
Ninnaji
Temple
and
Omuro

仁王御室 と派の みほ

— 天平と真言密教の名宝 —

2018年
1月16日(火) — 3月11日(日)

東京国立博物館 平成館
TOKYO NATIONAL MUSEUM HEISEIKAN (JENO PARK) [土曜公開]

“天平の秘仏”

ふじいでら
葛井寺の国宝
「千手観音菩薩坐像」
ついに東京へ!

展示期間

2月14日(水)～
3月11日(日)

仁和寺創建当時の本尊。 定印を結ぶ国宝の平安仏。

国宝
阿彌陀如来坐像
平安時代・仁和四年(八八八)
京都・仁和寺蔵
撮影 小野祐次

開催趣旨

御室様で知られる仁和寺は、光孝天皇が仁和二年(886)に建立を発願し、次代の宇多天皇が仁和四年(888)に完成させた真言密教の寺院です。歴代天皇の厚い帰依を受けたことから、すぐれた絵画、書跡、彫刻、工芸品が伝わります。創建時の本尊である阿彌陀如来坐像(国宝)は、当時もっともすぐれた工房の作品です。また、高倉天皇宸翰消息(国宝)は皇室との深いかわりを物語るものです。本展覧会では、これら仁和寺に伝わる名品を一堂に紹介します。また、仁和寺を総本山とする御室派寺院は全国に約790箇寺あり、すぐれた仏像も少なくありません。天平彫刻の傑作として知られる葛井寺の千手観音菩薩坐像(国宝)が、江戸時代の出開帳以来初めて東京で公開されるほか、普段目にすることができない多くの秘仏が見られる貴重な機会になります。仁和寺では現在、観音堂の解体修理が行われています。観音堂は修業の場であるため非公開ですが、本展覧会では33体の安置仏を展示するとともに、堂内の壁画を高精細画像によって再現して、一般にはふれることのできない堂内の厳かな空気を体感していただきます。

仁和寺と御室派

「御室」とはもとも、仁和寺を建立した宇多法皇のためにもうけられた室(僧房、僧侶の住居)を指します。宇多は息子の醍醐天皇に天皇位を譲った後、出家して法皇となり、真言寺院としての仁和寺の整備に力を入れました。鎌倉時代以降は、この「御室」が仁和寺そのものを示す呼称として用いられるようになっていきます。その「御室」を冠した御室派とは、現在、仁和寺を総本山として全国約790箇寺で形成される真言宗の一派のことです。御室派は、近世以前から仁和寺の末寺だった寺院を集めて形成されたもので、歴史的、伝統的な仁和寺とその末寺の姿をよく受け継いでいるものと言えるでしょう。

早割り前売券、販売決定!! 前後期2枚セット券

前期[1月16日(火)~2月12日(月・休)]と後期[2月14日(水)~3月11日(日)]、それぞれ1回ずつ鑑賞できる、お得な早割りチケットです。国宝「三十帖冊子」の全帖公開[1月16日(火)~28日(日)]と、仁和寺の秘仏・国宝「薬師如来坐像」や葛井寺の国宝「千手観音菩薩坐像」(いずれも後期展示)の両方を、お得に観覧したい人必見です!

[料金] 一般2,500円(税込)
[販売期間] 10月6日(金)~11月10日(金)
※セブンチケットで販売します。

その他の前売券は、11月1日(水)から販売開始します。
特典付前売券やプレミアムナイトチケットなどの情報は、HPにて随時お知らせします!

江戸時代に再建され、一般には非公開の 仁和寺・観音堂を展示室に再現!



観音堂内部

撮影 横山健蔵



TNM 東京国立博物館 平成館 [上野公園]

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>

[会期] 2018年(平成30年)1月16日(火)~3月11日(日) ※会期中に展示替があります
[会場] 東京国立博物館 平成館(上野公園)
[開館時間] 午前9時30分~午後5時 ※毎週金・土曜日は、午後9時まで ※入館は閉館の30分前まで
[休館日] 月曜日 ※ただし2月12日(月・休)は開館、2月13日(火)は休館
[主催] 東京国立博物館、真言宗御室派総本山仁和寺、読売新聞社
[特別協力] 仁和会
[協力] サビア
[協賛] 光村印刷
[お問合せ] 03-5777-8600(ハローダイヤル)

[観覧料]	一般	大学生	高校生
当日	1600円	1200円	900円
前売	1400円	1000円	700円
団体	1300円	900円	600円

*中学生以下無料 *団体は20名以上 *障がい者とその介護者1名は無料。(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。) *前売券は、2017年11月1日(水)~2018年1月15日(月)まで、東京国立博物館 正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイトほか、主要プレイガイドにて発売。

展覧会公式サイト

<http://ninnaji2018.com/>

本展公式ツイッター、フェイスブックで、情報発信中!

詳しくは 仁和寺と御室派のみほとけ 検索

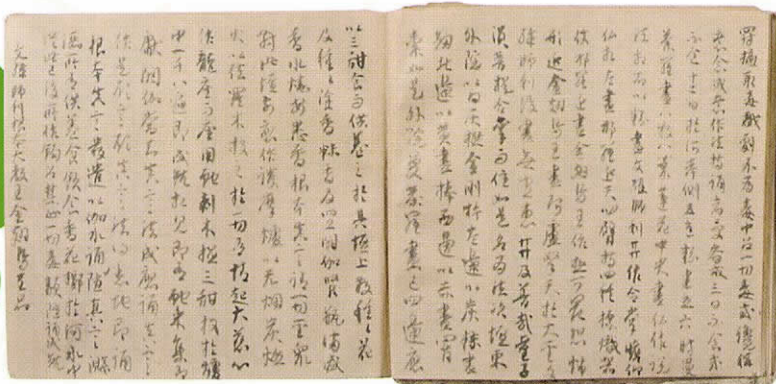
beyond
2020

JR上野駅公園口、鶯谷駅南口より徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅・東京メトロ千代田線 根津駅、
京成電鉄京成上野駅より徒歩15分

弘法大師・空海ゆかりの名宝

葛井寺の秘仏。国宝。
千の手、千の眼、十一の顔を持つ、
現存最古の千手観音像。

※通期展示、帖替あり



国宝 三十帖冊子 空海ほか筆 平安時代・九世紀 三十帖 京都・仁和寺蔵

弘法大師空海(774-835)が中国で書写して持ち帰り、真言密教の秘書として伝わる。空海と同じく「三筆」と称される橘逸勢の書も含まれると考えられ、書道史上も重要な作品。納める箱は、研出蒔絵で流麗な文様が施される平安時代蒔絵の代表作として特に名高い。



※後期展示

国宝 宝相華迦陵頻伽蒔絵冊子箱 平安時代・十世紀 京都・仁和寺蔵

※後期展示



宇多法皇像 室町時代・十五世紀 京都・仁和寺蔵
光孝天皇(八三〇・八八七)の遺志を引き継ぎ、仁和寺を創建した宇多天皇(八六七・九三二)の出家後の姿を描く。

江戸時代の出開帳以来
初めて東京へ

展示期間

2月14日(水)～
3月11日(日)

国宝 千手観音菩薩坐像 奈良時代・八世紀 大阪・葛井寺蔵

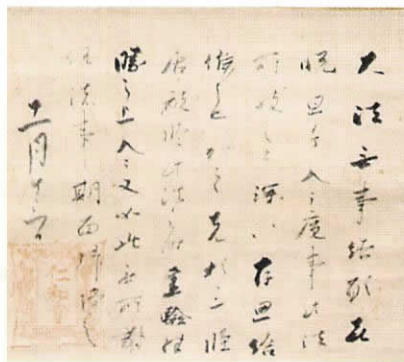
西国33所第5番札所である葛井寺の本尊で、天平彫刻の最高傑作の1つ。優美な表情、均整の取れた体や衣の表現は「究極の天平美」といえる。千手観音像は、40本の手で千手をあわすのが一般的だが、本像は大手・小手あわせて1041本をもち、合掌した手を中心に千の手が広がる本像の表現は見事である。千本以上の手を持つ千手観音像は、本像しか確認されていない。

秘仏
本尊

国宝 十一面観音菩薩立像 平安時代・八〜九世紀 大阪・道明寺蔵
頭上の仏面から台座の蓮肉まで一材から彫り出し、美しい衣を刻む平安初期一木彫像の傑作。



※前期展示



国宝 高倉天皇宸翰消息
高倉天皇筆 平安時代・治承二年(1178) 京都・仁和寺蔵
高倉天皇(1161-81)が、仁和寺第六世門跡の守覚法親王(1150-1202)に宛てた手紙。

秘仏
本尊

国宝 葉師如来坐像 円勢・長円作
平安時代・康和五年(一〇三三) 京都・仁和寺蔵
像高12センチメートル。白檀を精緻に彫刻し、金箔で細やかな文様を施す。



※後期展示

秘仏
本尊

重要文化財 如意輪観音菩薩坐像
平安時代・十世紀 兵庫・神呪寺蔵
如意輪観音像の古い例として重要な像。
毎年5月18日におみ開扉される秘仏。



秘仏や
本尊を含む
約70体が
一堂に!

秘仏
本尊



重要文化財 馬頭観音菩薩坐像
鎌倉時代・十三世紀 福井・中山寺蔵
鎌倉時代の名品として名高く、鮮やかな彩色や光背、台座も当初のものを残す若狭の秘仏。

秘仏
本尊



重要文化財 千手観音菩薩坐像 経尋作
平安時代・十二世紀 徳島・雲辺寺蔵

四国遍路の難所の1つ、標高900メートルあまりの山地にある雲辺寺の本尊。眼病治療のためにつくられた仏。

重要文化財 降三世明王立像
平安時代・十一世紀 福井・明通寺蔵
像高250センチメートルに及ぶ国内でも比類のない迫力のある姿。
同じ大きさの深沙大将立像も紹介。



撮影 武藤茂樹

国宝 孔雀明王像
中国・北宋時代・十一〜十二世紀 京都・仁和寺蔵
密教修法の孔雀経法を修する際の本尊画像。現存作例の乏しい、中国・北宋時代に制作された、きわめて貴重な仏画。



※前期展示

展示期間は…前期:1月16日(火)〜2月12日(月・休) 後期:2月14日(水)〜3月11日(日)
記載のないものは、通期展示です。展示期間は変更の可能性があります。